

市長 以前と比べますと、インターネットでものを頼むことが当たり前になってきています。保険の世界でもそういった形に変わってきているのでしょうか。

出口 今、日本人の所得が少しずつ下がっていて厚生労働省のデータによると、20代の所得は300万円ちょっとしかありません。これはフリーターやニートが入っているからなのですが、そのデータを見たときに「こんな社会は変えたい」と思いました。20代が貧しいと、晩婚になり少子化になります。年収300万円に対し、大手生命保険会社が売っている保険の平均は毎月2万円近くします。

市長 私も毎月1万4,000～5,000円を26歳ごろから保険会社にずっと支払ってきました。

出口 年収300万円の人にこのような保険を売ることにはできません。同じ保険会社をつくるなら、保険料を今の半分にして、若い人が安心して赤ちゃんを産める社会をつくりたい。どうしたら保険料を半額にできるか考えたとき、インターネットしかないと思ったのです。

市長 経費が下がるわけですね。

出口 「缶ビールのビジネスモデル」と言っていますが、お店で缶ビールを買えば200円ぐらいです。でも居酒屋で飲んだら400～500円します。なぜ同じビールが倍になるのかというと、居酒屋では人件費や家賃、光熱水費が上乘せされるためです。

ライフネット生命のビジネスモデルとは、インターネットで皆さんが直接缶ビールを買ってくれるから200円で売れるということと同じなんです。

市長 新しい時代のシンプルなビジネスモデルが社会に提供され、見事にニーズに合っていたということなのでしょう。会社は急成長されましたね。



出口 創業から7年ですがまだまだ小さい会社で、社員90人で売り上げが90億円ぐらいです。業界全体では40兆円ぐらいの売り上げがありますので、マラソンで言えば、400mのトラックをなんとか走って競技場の外に出たぐらいです。

市長 今からロードへ？

出口 これからが本番です。私自身はまだ何もやっていないと思っています。

市長 長くサラリーマンとしての経験をお持ちの出口さんは、私も愛読している雑誌『プレジデント』で「悩み事の出口」というコーナーを執筆されていますね。

出口 お恥ずかしいです。読んでいただいているとは。

市長 2016年2月15日号の中では「能力がある人より、ゴマすり上手な人の方が有利ですよ？」という質問に対し、「仕事の能力が9割、人間関係が1割です」とお答えになっています。

つまり、同じような能力であれば多少ゴマをする方が可愛がられるかもしれないけれど、能力をしっかりとって、それを発揮することが大事だと、野球選手を例に出して書かれています。

20代の所得が300万円ちょっと こんな社会は変えたい!!

HARUAKI DEGUCHI

ライフネット生命保険株式会社
代表取締役会長兼CEO 出口 治明さん

1948年津市美杉町(旧美杉村)生まれ。京都大学を卒業後、1972年に日本生命保険相互会社に入社。企画部や財務企画部で経営企画を担当するとともに、生命保険協会の初代財務企画専門委員長として、金融制度改革・保険業法の改正に従事。ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを経て、同社を退職。2006年に生命保険準備会社を設立し、代表取締役社長に就任。2008年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険株式会社を開業。2013年6月より現職。

